

獣害被害のあれこれ

- ・農作物に被害を与える野生動物の特徴は様々です。
- ・中型野生動物の生態と農作物被害の特徴をご紹介します。

アライグマ



生態

- ・アライグマ科
- ・体長60～100cm(成獣)
- ・雑食性(小動物、昆虫、果実、野菜)
- ・頭が入る隙間なら入ることができる
- ・河川や用水路など水ぎわを移動
- ・前肢を手のように使う
- ・木などに登るのが得意
- ・主に夜間に行動



被害の特徴

- ・スイートコーンは横だおしに倒す。
- ・実は土に着いた部分もきれいに食べる。



- ・ブドウ棚の上から前肢をのぼし袋を揉んで破くため汚れる



ハクビシン



生態

- ・ジャコウネコ科
- ・体長100cm(尾長35～50cm)
- ・雑食性(小動物、昆虫、果実、野菜)
- ・後ろ肢でぶら下がり、前肢を手のように使うこともある
- ・登ることが得意で針金のように細いワイヤーも登る
- ・水ぎわを移動
- ・夜行性



被害の特徴

- ・斜めに倒して実はきれいに食べる。



- ・棚に後肢でつかまり、口で袋を破くため、あまり汚れない。



タヌキ



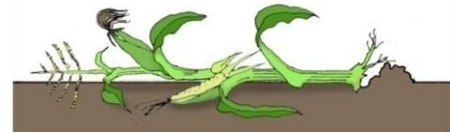
生態

- ・イヌ科
- ・体長50～70cm
- ・雑食性(小動物、昆虫、果実、野菜)
- ・見通しの良いところで溜め糞する
- ・穴を掘って埋めたものや土中の作物を食べる。
- ・ヒモをかじる
- ・主に夜行性
- ・臆病



被害の特徴

- ・倒して食べるが土に着いた部分は食べない。
- ・また、実を取って別の場所で食べることもある。



- ・タヌキはひもや灌水チューブなどをかじる。

